

夏秋ホウレンソウ「ジャスティス」の発芽と 生育温度の閾値および遮光資材の利用法

研究のねらい

近年は地球温暖化の影響で、阿蘇地域においても梅雨明け後から8月中旬の期間は発芽不良や生育抑制により栽培が困難となっています。そこで、盛夏期用ホウレンソウ品種「ジャスティス」の発芽とその後の生育に及ぼす温度と降温手段としての遮光資材の利用法を解明しました。

研究の成果

- 1 グロースチャンバ（人工気象器）を用いて、発芽とその後の生育に及ぼす温度を明らかにしました。
 - ①播種6日後の発芽率は、32℃以下で90%以上になります。
 - ②生育適温20℃と同等の生育をするのは、32℃までです。
- 2 遮光資材の効率的な利用法を明らかにしました。
 - ①遮光率40%の遮光資材を利用すると、一株重が重く、可販収量も多い傾向にあります（図1）。
 - ②遮光資材は、収穫10日前に除去すると一株重が重くなります（表1）。

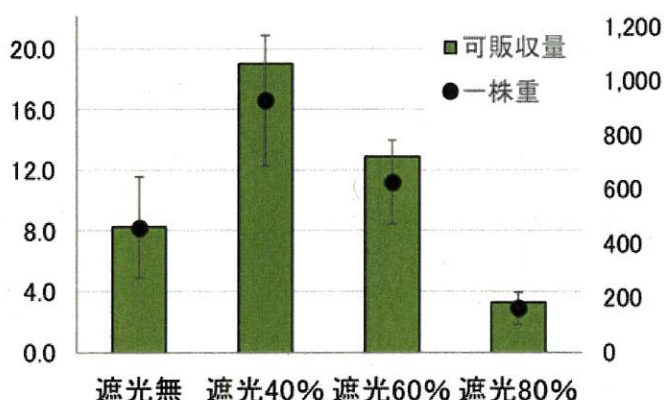


図1 遮光資材の遮光率と一株重、可販収量の関係
注) エラーバーは標準偏差を示す

表1 遮光資材除去時期と一株重の関係

	一株重 (g)
除去無	16.6±4.3
収穫5日前除去	14.8±3.6
収穫10日前除去	19.4±5.8
収穫15日前除去	17.9±6.0

注1) 平均値±標準偏差

注2) 遮光資材の遮光率は40%

遮光なしと遮光資材【遮光率40%「ふあふあTMSL40」（ダイヤテックス（株））】を使用したときの収穫物の違い

7月30日播種、9月3日収穫、収穫10日前の8月24日に遮光資材を除去



遮光なし

遮光あり

留意点

- (1) 天井ビニルを複数年使用している場合は、フィルムの汚れ等により遮光率が高くなりやすいことに注意してください。
- (2) 遮光をすることで必要なかん水量が変化することがあります。